



大和小だより

令和6年度版

学校便り 第15号(最終号)

令和7年3月11日

文責 校長 ○○ ○○



気づけば3月も半ば、6年生は来週卒業です。学校には、もうすぐ6年生がいなくなるという淋しさが何となく漂っているように感じます。光陰矢のごとし、自分のやりたかったことはできただろうかと振り返り、来年度はこんなことに力を入れて頑張っていこうと考える今日この頃です。子どもたちの中にも、本年度のまともに追われながらも、来年度のことを考え始めている子がいるのではないのでしょうか。

保護者の皆様には、1年間大和小の教育活動へのご理解と温かいご支援をいただき、誠にありがとうございました。来年度も変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

◇授業参観，PTA総会，学年部会ありがとうございました

本年度最後の授業参観では、学んだことの成果やまとめを発表する学年が多く見られました。中には、年間1度は公開することとしている道徳の授業を行った学年もありました。子どもたちの様子をご覧いただいた後の、PTA総会や学年部会では、本年度を振り返り、来年度へ繋がるような話し合いはできたでしょうか。なかなか全体に向けて発言するのは難しいことだと思います。相手にどう思われるか、周りにどう思われるかということも気になる所だと思います。しかし、「子どもたちのために」という視点さえぶれなければ、改善に向けて話し合いを行うことは大きな意味を持ちます。また、話し合うことで誤解が解けるということもあります。気になること等がありましたら、いつでもお気軽にご相談いただき、話ができる学校でありたいと思っています。



◇本年度のまとめ，そして来年度へ！ 第2回児童総会

ピリッと引き締まった雰囲気の中で、3～6年生全員が真剣に本年度の振り返りと来年度へ向けての話し合いを行いました。児童会執行部への感謝や自分たちの頑張りについて称え合い、やり遂げた自分自身への自信を深め、次年度へ引き継いでいく会となりました。会の最後に「いじめを絶対に許さない学校」への取組と成果が各クラスから発表され、それを受けた児童会長が、「ぼくは大和小では、いじめは絶対に起こらないと思います。なぜなら、みんな優しいし、相手を思いやる心を持っているからです。」と堂々と締めくくってくれました。大和小の子どもたちは、“やっぱりすばらしい子どもたちである”と再確認できた会でした。



◇みんな輝いた「6年生を送る会」

3月5日に「6年生を送る会」が開催されました。6年生の保護者を中心に何名かの保護者の方々にも来校いただき、在校生、職員、保護者、みんなで6年生の卒業を祝い、6年生への感謝の気持ちを表し、楽しい時間を過ごしました。



5年生は、お世話になった6年生のために在校生をまとめて会を成功させるぞ、という熱い思いとやる気にあふれていました。準備から当日の運営、片付けまでしっかりと行う姿に、来年度は安心して任せられる頼もしさを感じました。そして、それを助けて自分たちも続くぞという4年生の姿からも、すでに来年を見据えての意気込みを感じました。また、1・2・3年生の任された仕事や役割に真剣に取り組む姿に、微笑ましさや今後の期待を感じました。在校生が一生懸命頑張るのは、6年生が今まで大和小児童全員のために頑張ってきた証であり、感謝されるに値する存在であるからです。みんなで行ったゲームもとても楽しいものでしたし、6年生の出し物も4人の仲の良さが伝わってくる息の合った素敵なステージでした。

大和小の子どもたちのすばらしいところは、楽しむときはみんなで思い切り楽しみ、やるべき時は、一人残らず全員が真剣に取り組めるところだと思います。これは、送る会のみならず、すべての活動において言えることです。真剣な眼差しや態度が大きな感動をよぶのです。全員がそれぞれの立場で輝いた、思い出に残る会となりました。



大和小の良いところ

☆みんなニコニコなかよし読書

2月18日の朝活動で、児童会主催の「なかよし読書」が行われました。なかよし読書とは、高学年生が、低学年生に読み聞かせをする活動です。高学年生と低学年生のペアを作って1対1もしくは2対1で読み聞かせを行います。4年生は、昨年まで読み聞かせる側とされている立場でしたが、今回は読み聞かせる側として頑張っていました。感情を上手に込めて読んでいる子や普段よりも声を張って読んでいる子、読み聞かせるために懸命に練習してきた子など、読み聞かせる側の頑張りにも感心させられました。また、読み聞かせてもらっている低学年生も楽しそうにニコニコしながらお話を聞いていて、とても微笑ましい光景を見ることができました。年度末の忙しい時期でしたが、ほっと心が温まる瞬間でした。

